

ファイナルイベントに向けてのメッセージと当日の感想文およびストプロへのメッセージです！

■子どもにとって、生きるうえで大切な学びであり、独学のできないもの。それは自己肯定感を育んだり、社会性を身につけたりすることです。家庭に恵まれた子であれば当たり前のように保障されているものですが、虐待を受けるなど、むしろ親によってマイナスの影響を及ぼされている子たちと取材を通してたくさん出会ってきました。そんな彼らが、社会の中でたった一人でも「自分のために必死になってくれる大人」と巡りあうことができ、自分は大事にされる存在だと肌身で感じることであれば、自立していくための大きな支えになる。困難を抱える子どもたちの成長を追ううちに得た実感です。そしてストプロの活動報告に接するたび、その思いは強まりました。ユース一人ひとりの心に、ストプロに伴走してもらった経験が北極星のように輝きつづけ、人生という長い航海をこれからも照らし導いていきますように。(秋山千佳)

■1人ひとり生き方は違えど、それぞれが日々の何気ない幸せを感じて生きている。そんな現実を認識できる良い機会、そして密度の濃い時間となりました。たくさんの思いやりのある支援者の話を聞くことができ、人生で初めて支援して下さる方々の気持ちや価値観を知る機会に巡り合えてよかったです。坪井さん、8年間おつかれさまでした！！(浦山慧悟)

■今回初めてストプロのことを知り、シンポジウムに参加させていただきました。知らない場所で誰にも知られていない問題が起きている、小さい頃にSOSを発信できた自分がどれほど恵まれていたのか、そんな自分に今、何ができるのか、改めて考え直せる時間になりました。ありがとうございます。

私は中学校の3年間を不登校で過ごしました。今はどうか大学生をして、自分にできることを模索しながら、子どもたちのサポート活動をしています。もっと早くストプロのことを知っていたら、今までの生き方も少し違ったかもしれません。今、そして未来のために頑張ろうと思えます。子どもたち、いろいろな人たちのえがおのために...
(匿名)

■ごはんやだんらんの持つ力は大きいですね。「ごちハウス」はまさにその両方を実現して若者を支える場だったのだと思います。そこに関わることができて幸せでした。坪井さんの発信力にとっても助けられていました。これからも坪井さんの夢に向かってがんばってください。ありがとうございました。(川久保美和子)

■困っている人、声をあげて欲しい...と実感しました。ほしおか十色さんの話は2回目でした。大谷幸代さんと咲来美波さん、頑張ってください。

8年間お疲れ様でした。緊急時にはすぐに対応していただきました。大変助けていただきました。本当にありがとうございました。(匿名)

■ここで経験したことを次に繋ぐことが大事だと自分は思っています。ストプロはなくなっても坪井さんの考えや意志は次の子どもたちやそこに関わる人々に受け継がれていくよう、自分は行動するつもりです。短い期間でしたが、さまざまな話や知識をありがとうございました。(國川聖貴)

■多方面で活動されている方々の話を聞いて、今後の私に関わっている活動に役立てられます。梶谷さんの「子どもの代弁者であるスクールソーシャルワーカー」という姿勢や、佐藤さんのおおらかさ、岩元先生のような存在がいらっしやること、専門職として力強い藤林さん、堀井さん、藤田さん。そして、ほかにもたくさんの方が子どもたちの心と命を救おうと働いていることを感じます。当事者の方々の話、西さんの話が短くて残念です。聞かせていただいてありがとうございます。ただ聞けば聞くほど、自分の無力さがつきつけられるようで、辛い気持ちも湧いてきたときに徳丸さんが「できることはある、いろんな人とつながっていけば」と言われ、ホッとしました。梶谷さんも「できることはあります」と言われましたね。

ストプロの皆さん、坪井さん、このイベントをありがとうございました。ストプロの坪井さんの存在が私たちがしていることの精神的な支えでもあり尊敬しています。ファイナルイベントではありませんでしたが、新しいスタートでもあるとうけとめています。坪井さんの体調不良でなかったことがわかり安心しました。これからもささやかな働きですが、私たちの活動もコツコツすすめていきます。ありがとうございました。
(匿名)

■(文途中から)多くのメッセージが散りばめられたシンポジウムに同席できたこと感謝します。ここからまた新たに始めてゆくのです。確かに受け取りましたよ、熱い方がたくさんいらっしやる、福岡。私も頑張ってください。(大田弥生)

■有意義なシンポでした。企画大変だったと思います。すばらしい思い温かい思いをもった人々の話に勇気をもらいました。ハッピーにさせてもらいました。ありがとうございました。これからはスタート。応援しています。

1人の人間をこんなに多くの人々が支えあい「一人ぼっちにさせない」という信念に、生きる勇気をもらいました。おそらく、困っている人たちが今回のシンポを聞いていたらそのように思うのではないのでしょうか。私自身、とてもハッピーな気持ちにさせていただきました。
(匿名)

■私には二人の息子がいます。子どもを愛し育てるという意味をよく理解しないまま自己流で子育てしてきたことに深い反省があります。親になるというのは、こんなに大変なことなのだ当事者のお話を聞いて改めて考えさせられました。家庭って、それぞれ形が違います「何があっても愛す、何があっても子供を信じる」なんですね。これからの人生を後悔しないためにも更に愛情を掛けていきたいと思えます。ストップさんには大きな愛を教えてくださいました。ありがとうございます。（匿名）

■「ストップがなくなる...え〜っ」と思っていました、坪井さんがいるいなくはなく、そこに、生きづらさを感じている子どもたちがいるということが一番大事なことだと改めて感じました。自分にできること、そこから出発していきます。みんなが少しずつできることから始めて、つながっていくこと、それがストップではないのでしょうか。ストップは不滅です。（匿名）

■支援者とサバイバーの両者が1つに集まったの会は本当にめずらしいと思う。どちらにもそれぞれの思いがあってそれが双方に伝われば良いと思う。これは氷山の一角であって、まだまだ大変な状況の人はいると思うが、少しでも多くの人々に知ってほしいと思う。貧困も虐待も社会の問題は社会が作っていることに気付いてほしい。

8年間お疲れ様でした。本当は個人ですべき活動ではないと思うし、終わってはならない活動だと思う。でも終わらせる勇気は認めたいと思う。自分の幸せのために時間を使って下さい。（匿名）

■今日のファイナルイベント、参加できて本当に良かったです。お話しくださったお一人おひとりの言葉、お話があまりにも想像をはるかに超えてすごすぎですと涙が止まりませんでした。本当にサバイバーの方々お一人おひとりお話しくださることはとても辛く苦しく悲しいことを思い出させてしまうのに、私たちに真実をそして皆さんのお気持ちを聴かせてくださり、ありがとうございました。感謝の気持ちでいっぱいです。また様々な形で支援されておられるお一人おひとりの熱い想いにも胸をうたれ感動しました。福岡の身近なところで困っている泣いている子どもたち、ユースがまだまだたくさんいるのでしょうか。私に何ができるのか本当に考えていきたいと思えます。本当にありがとうございました。心から感謝しています。今日、登壇されたお一人おひとりの上に、これからも道が備えられ導かれ祝福されるよう心から祈ります。（山口由美子）

■とても内容の濃い時間でした。みなさんの「這ってでも生きる」「生きている」という言葉がそれぞれ重く、今までの人生、これまでの人生をより大切に過ごしていただきたいと思えました。これだけの支援者を集められる坪井さんのネットワーク力築き上げた関係性をなんらかの形でつないでいてほしいと願います。ストップという場所、そして、このネットワークが終わることはとても残念です。必要とされているものは、また、いつか必ずよみがえると思えます。（匿名）

■ストップさんには本校の生徒が本当にお世話になりました。食糧をいただいた生徒の数は数え切れません。ストップの活動が休止となり今後誰を頼って良いかわかりませんが、自分ができる範囲で今回つながることができた方々と共に生徒支援に取り組んでいきます。8年間お疲れ様でした。ありがとうございました。（岩元 優）

■私は大学で児童教育を学ぶ中で福祉、いわゆる社会的養護に興味を持ち、今回参加させていただきました。実際にここまでまさに文字通り生き抜いてきたサバイバーの方から実際に凄なお話を伺って文字でしか知らなかったものが一気に身近に感じ、もっと知りたい、色々な仕組み、支援、寄りそう方法を知って参加したいと強く思いました。自分の年齢が19歳ということもあり、私と同じ年代、私の後輩と同じ年代の子が苦しくて、でもそれでも一生懸命生きているのこっちまでも勇気をもらってしまいました。子どもの将来が守られるのは当たり前でない現状、でも当たり前でなければいけないという矛盾が少しでも早くなくなれば良いと強く思います。そして、私も微力ながらも子どもを守る職業に就きたいです。本日は本当に貴重なお話しありがとうございました。私が動くきっかけを与えて下さりありがとうございます。（山口智笑）

■本日、参加させていただき本当にありがとうございました。自分自身の今後の活動においても、改めて大切なことを教わりました。助けてとってもらえる活動のためには、そこにはやはり「なんとかしたい」という思いのつながりしかないですね。自らを語ってくれた当事者の方にも心から尊敬の念をいただきます。ひとつひとつの感情をズキズキしながら受けとめて聞いておりましたが、心の中で「がんばります」と応え続けていました。坪井さんらしい最終イベントだったと思えます。やりますよ！！（匿名）

ファイナル・イベントではたくさんの方が、感想およびメッセージをお書きくださいました。ありがとうございました。投稿の了解を得たものの中から一部をご紹介します。ありがとうございました。